

O B 会 報
第二号

横浜国立大学
ワンダーフォーゲル部
O・B会発行
1964. 9. 30

八年目の厄年

三期 井上 肇

ワングルが出来てもう八年になる。ということはOBが四代、そして現役が四代と同じだけいることだ。来年になれば一期の人達にとっては顔も知らぬ連中がOB会に入ってくる。

八年目の厄年、こんな言葉がびびったりしそうな今年の状況である。ともかくついでい

ない。新人歓迎ワンダリングは偵察に行った曲岳から帯那山に変更になるし、新人合宿

はストさわぎで出発前日奥多摩へ偵察に。まあストが解除になって志賀高原に行けたけれど。

そして今度の夏合宿。松江に偵察に行っておいたのが例の集中豪雨で山陰合宿は中止。ともかく一本の偵察ですんだ事がない。

今年は今役とOBとの接触が少なすぎる感じ。その気があれば機会はたくさんあると思うのに。今までの現役の活動

の中でOBが顔を出したものをひろい出してみると四月末の歓迎ワンダリング。五月十日の合同トレニング。五月十七日の読書ワンダリング。六月十四日の総会。七月十九日の壮行会。

OB連中がなつかしがるワングルというものは現在あるワングルではなくて、かつて自分達が過した甘くなつかしい思い出にしか残っていないものでしかないのかを。そして会合においても昔の自分達の仲間にあえばそれで良いのであって、もうワングルのようらん期を歴史でしか知らない、その歴史の中から自分達のワングルの方向をくみとろうとしている。後につよく連中の事などは用がないのだろうか。ワングルなんて

学生時代の甘い楽しみでしかなかったのだろうか。月に一度ぐらいOBのそんな大げさでない簡単な顔みせ的な集まりがあったらと思うことがある。だから試みに現役連中が日曜日を使う時、あちこちとさそいの手をかけて見るが、現われるのはまれである。こんな状態にぶつかるとOB連中の事なんかほっぽって現役連中の中に入って行きたくなってしまふ。OB連中ではもうワングルは負担なんだろう。

昨年の大学祭の時だったかな、四年生をOB会の会合に顔を出させるなんて話があったように思ったけどあれはどうなってしまうのだろうか。もうすぐ十年をむかえる。十年目には山小屋をなんて言葉があるけど、意外に早く山小屋の話がころがりこんだよ

うだ。もしこゝで山小屋建設にふみきる事になれば、現役とOBとはもつともつと連絡をとって協力しあつて行かねばなるまい。大体山の好きな人間は仲間意識が強くて閉鎖的傾向があるから、同じワングルというものでつながつて

OB 諸氏へ

会長 松本正雄

OB会創設後九三年位経過し、会員も現在六十一名の大世界となつた。会則自体も創立一二年の間にほぼ陽の目は見したが、その後正式に全員全般に行きわたつていないのは、幹事会の怠慢といえよう。然し学生時代と異なり、会規会則のみにしぼられていては、自由な活動ができなくなる。そもそも当OB会については、すでに總會、懇親会、会報発行、現役共用の名簿発行等の実績はあるにしても、OB会自身の本来の活動、会としての存在意義、目的について根本的にOB会員皆で考えねばならない時機だと思ふ。

今の現役はやがてはOBになつて行く。

とうたつてある。どちらへ重点を置くかによつては、現役への寄附団体（運動部のOB会は大半がこれである）にすぎなくなる。その為にはニュース源としての会員全員の協力が無いと非常に難しく、折りにふれての随想、近況、転勤等の事項を必ず各期幹事又は編集担当（これは次の總會にて専任を置く様提案するつもり）まで送らねばならない。又原橋を頼まれたら期日までに必ず送る様にすることがOB会存続の為にも不可欠と考へる。殊に地方在住の人に望みたい。連絡機関、方法の検討が急務である。

OB会創設後九三年位経過し、会員も現在六十一名の大世界となつた。会則自体も創立一二年の間にほぼ陽の目は見したが、その後正式に全員全般に行きわたつていないのは、幹事会の怠慢といえよう。然し学生時代と異なり、会規会則のみにしぼられていては、自由な活動ができなくなる。そもそも当OB会については、すでに總會、懇親会、会報発行、現役共用の名簿発行等の実績はあるにしても、OB会自身の本来の活動、会としての存在意義、目的について根本的にOB会員皆で考えねばならない時機だと思ふ。

会則には

一、会員相互の連絡、親ポク

一、現役への援助と助言

さて先般来京浜在住のOB連によつて話が出ている山小屋の件について報告をしておから、会員諸兄の意見、批判を仰ぎたい。

第一期生経済学部出身の連が学生時代に、山行、テニス、スキー、麻雀等とサポータお蔭で、社会へ出て勉強不足を痛感し、拙宅にて月二回

勉強会を開いているが、たま
たまその席上嘉納が来訪し、
山小屋建設の話がもちこまれ

た。彼自身は外部の同志と図
って共同で、谷川岳ふもとに
山小屋を建設した経験をもつ
が、話の要点は、「あちこち
の建設会社がダム工事等で建
てた仮設の小屋（最近はとて
も立派なものが多い）を払下
げて貰うと安く手に入る。処
によって十数万円台すらある
から、我々もぼつぼつ創立十
周年も間近く考えてみたら」
ということである。資金面、
管理面、利用価値等問題は
多いが全員賛意を表し、と
り敢えず山小屋建設小委員
会（仮称）を設立し、嘉納、
田上、望月、河野、桑原、
小野、松本を発起人とし研
究段階として具体的な案を
ねり、検討してOB総会又
は幹事会にはかることに衆
議一決。

場所として夏冬ともに使用
出来て、交通の便なる処とい
うことになった。

その後八月八日嘉納より電
話があつて奥只見に行ったと
ころ、役場の観光課長と話し
た処、大学としてなら、土地
を無料提供し資金、管理面で
協力する旨の話を持ち込んで
来た。そこで八月十四日拙宅
にて、現役主将

一期嘉納、田上、河野、杉本、
小野、望月、

二期吉野、と会合をもち、検
討したが、

一、大学側の意向を確かめる
こと。

二、現役側の意向も絶対的な
ものである。

とし、山小屋建設運動として、
大学側に打診することに一決。
場所としては日本一のダム田
子倉ダムで、只見線小出より
入るので、現在は東京より十
時間かゝるが、将来新潟まで

道路完成し、一般に開放され
ると五時間で行ける様になり、
非常に閉静である。

大学側が拒否した時、OB
会独自で交渉するかは又後の
こととした。

以上の様を経過であるが、
会員諸君の批判、協力方をお
願ひしたい。

ワンゲル第一号

一おめでとう藤林君一

二期 塚原伸一郎

七十年振りの暑さが、これ
から始まろうとする六月六日、
ホテルニュージャパンのいき
なポリネシアンレストランで
藤林君の結婚式が行なわれま
した。式にはOB会からも同
期三名が出席、彼の暗れ姿、
いや彼の奥さんを見ようと
緊張していたとおぼしめせ。

やあ！やって来ました。見え
る、見える!!何が?とぼけち
やいけなよ!!全くお以合い

の御二人のやや緊張の面持ち
で中央に。恩師の北川教授御
夫妻に御二人が紹介される。

聞けば足かけ六年にも及ぶ相
思相愛の仲との事「あんちく
しよう!!虫も殺さぬ程を面を
し、かつ山に出かけて体操を

するのが唯一の生き甲斐の程
に振舞っていなながら、かげで
は・・・」と独身もののひが
み言葉も出て来ようというも
の。

しかしいかにも幸せそうな御
二人を見ているうちに「あゝ
おれも・・・したいな」とつ
くづく感じた事でした。とも

あれ我々OB会員の中で結婚
第一号の彼に大いなる祝福と
げきれいの言葉を与えようで
はないか。

頑張れ! 徹ちゃん!

追伸

最近OB会の諸氏のおめでたいうわさを耳にする。

会報を通して皆さんに報告したいと思います。幹事迄御一報の程を。

しかし数年前、共にテントを張っていたときには思ってもみなかった問題(うそつけ)が現実となって来ようとは。月日の経つのは早いものです。ではみなさんよいお話を。

ボーリング

当今はやりの遊び(スポーツ?)にボーリングがある。そここにボーリング場が出現し、競技人口も増加の一途をたどっている。

さてあるOB、さることからボーリングを習い二、三回通ったのち同期のOB二名をボーリングに連れて行ったとおぼしめせ。

「ボールの握り方はこう、投げ方はこう」と得意になって教えていたが御当人もまだ初心者、一向に理屈通りうまく行かない。

そのうち生徒であるT君調子が出だして二ゲーム目に百五十五点を出してしまった。先生まだ一度も百五十点を越したことがないというのに何たることか。聞くところによると、初めての人はとかく良

い点が出るそうだが、百五十五点とはよほどの天才ではなからうか。これもワングルできたえられた運動神経のお蔭かも知れぬ。

ともあれ初めての人でも楽しめるボーリング、金はかかるがたまには気晴らしになって精神衛生上大いによろしいのではないか。

いつかOB会でボーリング大会でも開いたら如何なものでしょうか。ある会長、ある顧問の投げる姿を御想像アソバセ。

(運動神経のニブイOB)

地方OB近況

さる三月各OBより寄せられた近況の内、地方の会員のわいくつかあげてみました。相変わらず会社は人手不足のため多忙を極めなかなか学生時代のように自然に親しめま

せん。〆(一期、吉田輝義、三菱電機、静岡) 非常に真面目な生活を送っております。

二月に一度とまた今月は三―四日大山へスキーを計画しています。大山は大変気に入っております。いつかワングルの方と、もちろん女性とですが、滑るのを楽しみにしておりますから誰か計画を下さい。今年の目標は学校出てから何十年たってもブラブラ歩くのが好きで四国、九州、山陰陽、紀伊、北陸、京奈良と巡りましたので能登を一周することといい人を探して早くと嫁さんにしちまおうと考えます。マジメで云ってゐます。〆(一期吉田光志、三菱レイヨン、大阪)

〆昨年によく歩き回りました。今年は今までの山へ一回、スキーへ一回出かけただけ。今年始めに自動車免許を取得

しましたので歩くのを減らし、日間静岡に行き高橋のクロ助でドライブにでも出かけようかとも思っています。……会社の方は相変わらず最低の不景気で春の昇給もあやふまれるくらいです。

春とともに同期生にもおめでたの話があるのじゃないでしょうか？

（二期宮崎紘、丸善石油、和歌山）

卒業以来すっかり御無沙汰しております。この所結婚シーズンとあって家業の方も人手不足の為連日夜業をして頭張っています。二十九日の繰

会にも何とか出席させて戴こうと思っていたのですが今月は東京で全国見本市等がある

ので暇つぶしをしてみたいので、二十九日も休めず仕事。皆様には呉々もよろしくお伝え下さい。

（三期高橋俊吾、家具卸業・静岡）

三月二十日ー二十一日の三

以上紙面の都合でたくさん

のせられないのが残念ですが、地方の会員のみなさんそれぞれ元気で活躍しているようですね。何よりです。

静けきは蛙の声
うるさきは友のうごめき

街の中を走り行けば
さえぎるものなく

麦の香そ
鼻を打つ

浜に寝そべりて
臉を閉じれば

たゞ 何もなし
裏山よりの眺め

城山からみたる桜島に
何程劣らんや

そこに住む女人
接するにやわらかざるなし

讚うべきかな新居浜
わが成算のある所

ただ忘るる勿れ
滅亡の恐怖を

ただ忘るる勿れ
人々の魂を

（三期金田精彦）
（二期幹事）

新居浜讀歌

雀奴諸夫

静けきは蛙の声
うるさきは友のうごめき
街の中を走り行けば
さえぎるものなく
麦の香そ
鼻を打つ
浜に寝そべりて
臉を閉じれば
たゞ 何もなし
裏山よりの眺め
城山からみたる桜島に
何程劣らんや
そこに住む女人
接するにやわらかざるなし
讚うべきかな新居浜
わが成算のある所
ただ忘るる勿れ
滅亡の恐怖を
ただ忘るる勿れ
人々の魂を

春のOB会

とき 昭和三十九年三月二十九日(日)午後三時—六時

ところ 桜木町駅前、美野和

出席者 第一期生 喜納、松本、田上、桑原、佐藤

第二期生、藤林、塚原、岩上、吉野、倉田、荻野、氏平、岩村

第三期生 井田、井上、斎藤大、宮崎、諸節

第四期生 跡部、斎藤貞、竹内、安部、永田、谷、郡司、斎藤伸、谷上、牧原、織田、寺沢、計三十一名

早いものでワングルOB会

も第四期生を迎えるに至った。

この元気な第四期生の歓迎を兼ね、春のOB会が現役の総会のあとなつかしき桜木町駅前の美野和で開かれた。出席者も三十名と総勢の約半分も集まりにぎやかな会であった。

藤林氏の司会ではじまり斎藤貞夫君以下の第四期OB、OGの入会式を行ない各期の幹事各二名ずつを確認し、次いで松本会長の挨拶及び嘉納顧問のOB会についての説明があり引き続き議事に入り左の事項が決定承認された。

☆三十九年度事業計画

○会報発行 二号—三号

○名簿作成 現役の名簿にのせて貰う

○OB会

○春 新入OB歓迎会 三月二十九日

夏 荘行会参加七月、海水浴八月

秋 大学祭参加・総会 十月

冬 追出しコンパ参加 十二月

その他各期で同期会は適宜行なう。

☆連絡方法の徹底

○会費は毎年七月に会長の指示により各期の幹事が会員に連絡、各会員↓各幹事↓年度幹事(当分の間は会長)というルートで送金する。

○住所・勤務先、電話番号等の変更、その他の消息は各会員↓各幹事↓年度幹事という方法で連絡すること。

○OB会全体の事業は会長・年度幹事↓各幹事↓各会員という方法で。

○同期会は各期で適宜行ない会長へ報告(事前又は事後)

○会員の消息はOB会報にて。

☆OB会の運営方法

会長—各期幹事—各会員の組織のもとに

一年間(三月末—翌年三月)を一つの期全体で責任をもって事業に当たる。

当番に当たった期の幹事を年度幹事と称し会長、顧問とよく連絡をとりOB会の運営に当たる。

昨年度は第一期とし今年度は第二期が年度幹事に当たる。従ってこの制度によると毎年新入OB会員を迎える限りOB会員になって一度だけ年度幹事をつとめれば、あとは各期をしっかりとめていけば良いわけで負担は

かなり軽くなるわけである。

以上のようなことがきま

たわけであるが新たに年度幹事制度というのが発足しOB

会

会

会

会

会

会の運営をスムーズにしよ
 という意図が充分盛り込まれ
 ているように見受けられた。
 とりあえず今年度(三十九
 年三月末―四十年三月)は第
 二期(吉野、倉田、米屋他)
 が年度幹事に当たるので、各
 期の幹事及び各会員は連絡そ
 の他を第二期幹事迄お願いし
 ます。

を行ない六時楽しく散会し、
 第二ラウンドは各期毎の同期
 会へと夜のヨコロマへ散って
 行った。

(二期 吉野記)

尙念の為各期の幹事は

第一期 田上、望月

第二期 吉野、倉田

第三期 井田、横手

第四期 跡部、安部

である。

以上で議事を終り会食に入
 り、ビールと洋食を囲みなが
 ら

○各期よりの近況報告

○地方のOB・OGだより

○ワングル及びワングルOB

会についての諸意見交換

近年とみに滞納が目立つ。
 今は会費なくては運営出来
 ないもの。各期の幹事宛至
 急おさめて下さい。各自考
 えればわかるし、たまると
 大変だ。幹事は受領後地方
 の人には受領の葉書を出す
 こと。

名簿変更追録

一期生

一、佐藤文雄

旧 墨田区吾妻橋二ノ一

二二

新 鎌倉市二階堂

自営 宝タオル(株)

章務(六二二)

九六〇三

二、小野三郎

自宅 電話(八二二)

七九六一

勤務先電話(二〇二)

二五三〇一(五

〇二)

一、桑原忠雄

勤務先 電話 (二一九

一)二九三一

一、河野 哲(経、遠藤ゼミ)

自宅 電話(〇四六六

二)九五〇〇

勤務先電話(七〇二)

二、松本正雄

勤務先 電話(二六二)

二二一一

一、嘉納秀明 電話茅ヶ崎(

八二)七九六一

二期生

一、米屋勝利

旧 横浜市南区大久保町

字西ノ谷二九二

東芝上大岡寮

新 川崎市中野島二〇〇

八市管住宅七号館二〇

五号室

二〇二〇 藤林 徹

新：横浜市戸塚区公田町

六三五公田団地十号

館四〇六号室

二〇二四 渡辺一良

勤務先：信越化学電子材

料研究所第二研究室

二〇二五 岩上克尙

勤務先電話：(八八)

二〇二七 岩村美智子

自宅電話：(七五)七六九五

二〇二八 氏平裕子

自宅電話：(七五)八八五五

三五

二〇三〇 倉田郁代

自宅電話：(二三)六四七二

七二

第三期

三〇三四 三神広臣

勤務先：三井物産非鉄金

属部会計課

三〇三八 江崎伴雄

勤務先：日本コロムビア

テレビ事業部第二テレビ

設計課(四)二一一

第四期

四〇六一 跡部一博

勤務先：安田信託銀行横

浜支店

四〇六二 谷上俊三

勤務先：富士フィルム(株)F1技術課

四〇六三 斎藤伸一

勤務先：住友化学工業(株)大江製造所

四〇七〇 郡司直樹

勤務先：日本鋼管(株)技

四〇八六 織田充子

自宅電話 中原(三)三七五〇

術研究所表面処理研究室

(三)八一

財政中間報告

39.8.15日現在

(39.10.30~39.8.15) 第1号掲載後のもの

収	入	支	出
38.10.31	繰越分	38.11.3	第3期会費徴収
12.27	会費収入	11.3	通信費
39.8.7	同上	11.3	総会用寿司15名分
8.14	同上	〃	鎌倉現役交歓会寄附
39.3.16	同利子収入(39.3.16決算)	12.7	ビール、つまみ追出しコンパ4年贈呈デコレーションケーキ 丹沢
		39.1.17	OB会報一号印刷代
		〃	100部 同上送料、貯蔵切手代
		3.29	総会(新OB歓迎会) OB招待
		8.14	OB全運営費仮払(今年幹事二期生)
			残高
	49,095		27,045
			49,095

残高27,045は三菱麹町支店普通預金 通帳口座番号2,2,3,6,7にて預入

編集後記

東京異常渇水、ふところ異常金欠、秋も又涼し、編集もこれ又進みよらずわびしき哉人生！だがOB会ありて皆ここになくさめを見出す。楽しき哉人生！追記、八月十六日津久井浜上宮田海岸にてOB会初めての海水浴を催した。十二名の参加をえて童心に返り楽しき一日であった。特に藤林夫妻には夏とはいえどアツイ仲でいやはやどろもゴチソウサマでした。

OB会報才二号

編集責任者二期(吉野、米屋)

発行責任者 松本正雄

印刷 濱市南区前里町

有鈴木タイブ印刷社 (25) 六〇八九番